

授業科目名	水利環境学 (Environment for Water Resource)			
授業担当者	千家正照 (応用生物科学部)			
開講時期	3年後学期	単位数	2	授業形態
				講義
授業概要	人間生活を快適に営むために必要な用水に関する条件を総称して「水利環境」と呼び、生活用水、灌漑用水、工業用水、環境用水、地域用水、洪水制御を対象とするが、本講義では、とくに農地や農村地域をとりまく水利環境の条件と計画手法を中心に説明する。			
到達目標	農村地域における用排水計画の基礎理論を理解させる。			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水利環境とは 2. 水資源利用計画 3. 水稻灌漑における水管理の特徴 4. 水田灌漑の方法, かんがい水質水温 5. 水田の圃場単位用水量 6. 水田の用水計画 7. 水田の広域用水量 8. 日本における畑地灌漑の目的と特徴, 畑地灌漑の方法 9. 畑地計画用水量の算定手順 10. 土壌水分調査 11. 計画消費水量の決定 12. 末端施設計画, 配水施設計画 13. 農地排水の役割と方法 14. 地区排水, 圃場排水 15. 排水計画 			
授業の公開	不可			
その他	<p>事前に履修するのが望ましい授業科目名：環境水文学, 土壌環境学</p> <p>テキスト：講義資料を配付する。</p> <p>参考書：丸山利輔著「水利環境工学」朝倉出版</p> <p>成績評価：毎回の講義で行う小テスト(100%)によって評価する。</p>			